

生涯学習の窓

教育・文化・スポーツの
ホットな情報をお届けします。

■村民スキー大会

3月5日（日）に国設占冠中央スキー場にて村民スキー大会が行われました。

幼児から大人まで55名の選手が華麗な滑りを披露しました。

例年同様、成人男子の部の参加者が多く、会場を盛り上げてくれました。今回は、成人女子の部の参加も期待したいところです。

大会運営にあたり、多くの方からご協力をいただき無事に終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。



■自主創造プログラムをご活用ください

占冠村公民館では、村内の多様化する学習ニーズに対応し、より実りのある**公民館事業**※の実現のために自主創造プログラムを募集しております。

紙面の都合上、一部とはなりますが、本事業の趣旨・内容をご紹介しますので、ご理解いただき本制度をご活用くださいますよう、よろしく願いいたします。

- 1 事業の内容 村民を対象として企画された公民館事業
- 2 参加対象者 占冠村民（占冠村に居住している方）
ただし、村外の住民を参加させることにより事業内容がより充実し成果が見込める場合はこの限りではありません。
- 3 事業主体 団体での申し込みの場合は、その団体を主催者とし公民館は共催とします。
ただし、公民館長が認める場合は、公民館主催とすることができます。個人での申し込みの場合は、公民館主催となります。
- 4 申し込み 事業実施の2か月前
- 5 その他 詳しい内容や条件については、公民館事務局（教育委員会社会教育担当）にご相談ください。

※**公民館事業**とは～住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するような事業（社会教育法第20条より引用）

■世話焼き隊募集中

時間のある時、無理なく、できることをする。これが、学校支援ボランティアです。

みなさんの今まで培ってきた経験や知恵を地域の子どものために使ってみませんか。難しいことをする必要はありません。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしてください。お手伝いよろしくお願いします。

<主な活動>

- ・放課後の見守り・栽培活動・絵本読み聞かせ・スポーツ指導など



児童と世話焼き隊が卓球を楽しむ（放課後の見守り）

申し込み：占冠村教育委員会社会教育担当
TEL：56-2183

【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。



エゾシカ

村の2月の捕獲は15頭、うち駆除11頭で、例年の半分程度です。駆除のうち国有林の森林環境保全整備事業では3頭でした。3月はやや増の予想です。

村では捕獲されたシカの有効活用を推進していますが、皮は現在までほとんど活用できていません。昨年度のクラフト開発委員会では製品の検討をしましたが、今年は「なめし」工程内製化の試験を、新たな地域おこし協力隊員とともに始めています。今後、興味のある方々と一緒に、楽しみながら取り組める枠組みも考えてみたいと思います。



なめし前の下処理

なめし後の仕上げ



ヒグマ

今年は春が早いのかと思いましたが、意外や3月15日現在、まだヒグマの活動情報に触れていません。

事故予防のためだけでなく、生息状況の把握のためにもヒグマ情報を収集しています。皆様のご協力をお願いいたします。

■お問い合わせ

林業振興室 野生鳥獣専門員

電話 56-2174



アライグマ

冬期間は不活発で捕獲しづらいと言われますが、珍しく2月下旬に1頭を捕獲できました。住宅裏の納屋をめぐらに、庭にある野鳥の餌台に通っていた個体です。当住宅の方からの情報提供で捕獲に至りました。皆様もお住まいのまわりで不審な足跡などありませんか。お気づきの折は、ご一報ください。



アライグマのいた納屋



捕獲されたアライグマ

◆占冠村猟区について◆

2月下旬から3月上旬にかけて2回の入猟があり、計4日で5頭のシカを捕獲できました。違反、事故等の事案は発生しておりません。

好天に恵まれ、心地よい山行が好評です。



▲そのほか▲

双珠別地区で野犬の情報がありますが、未だ詳細不明です。ご注意いただくとともに、お気づきの点があれば、お知らせください。

こちら駐在所



です

■山菜採りによる事故防止

山菜採り 無我夢中に 落とし穴

例年、行者ニンニクや、タケノコ等の山菜を求めて入山し、道に迷ったり、沢に転落する事故が起きています。

慣れた山でも、油断すると「危険な落とし穴」があることを忘れずに、次のことに注意しましょう。

【山菜採りを行う際の留意事項】

- 家族に行き先と帰宅時間を知らせる。
- 単独での入山は避け、2人以上で声をかけ位置を確認する。

- 服装は目立つ色にする。

(色は赤や黄色系が目立ち、ヘリコプターへの合図はタオルを振る)

- 携帯電話、非常食、水、熊鈴、笛を携行する。

(水、笛は、笹やぶでさまよつとのどが渇き、声をせせなくなるため)

- 迷ったときは落ち着いて行動する。

(体力の消耗を抑える、発見されやすい場所を探す)
【ヒグマに遇わないための留意事項】

- ヒグマの出没情報を確認する。

●出没情報のある場所、出没を知らせる看板のある場所へは立ち入らない。

- 山には仲間と入り、一人にならないようにする。

●鈴を鳴らすなど、音で人の存在や接近をヒグマに知らせる。

- 早朝、夕方、悪天候などで薄暗いときは、山に入らない。

占冠駐在所
56-2110